

2023～2024年度 小倉中央ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう

第1336回 例会

5月13日(月)

本日の卓話 「家庭集会報告」

例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
 TEL 093-531-4015
 FAX 093-531-1022

会長の時間（4月22日 1335回 例会記録）

梶原会長

出席報告 4月22日

会長の時間で「宇宙ゴミ（スペース・デブリ）」の話をしました。2023年12月時点で観測されている軌道上の宇宙ゴミは約35,150個。1cm以上では100万個、1mm以上は1.3億個以上と推定されています。

軌道上の物体は浮遊しているわけではなく、速度を持って周回しています。7～8km/s程度で周回している場合、2つの物体が衝突する際の衝突速度は10～15km/s。これは、ライフル銃の弾丸のスピードが1km/sであることを考えると、その10倍ものスピードで衝突することになります。そのため、たとえ1mm程度のスペース・デブリであったとしても、当たりどころが悪ければ運用中の衛星が故障したり、1cm以上の宇宙ごみの場合、人工衛星等の破壊につながる致命的な破壊となる可能性があります。

これまでにあった事故を少し紹介すると

○衝突事故

- ・1996年 フランス軍事観測衛星 CERISE にアリアンロケット破片が衝突。
- ・2006年 米国の通信衛星イリジウムに使用済みロシア衛星が衝突、大破。
- ・2013年 エクアドル小型衛星に旧ソ連ロケット破片衝突。通信途絶。

○微小デブリ衝突が疑われる事例

- ・2006年 ロシア通信衛星故障。冷却液が噴出、機能不全。
- ・2007年 欧州気象衛星不具合。軌道が突然変化し位置制御スラスタ破損。
- ・2013年 ロシア小型技術実証衛星故障。衛星の回転速度及び高度が変化。
- ・2020年 H2Aの先端部分が原因不明の分裂を発生し、破片の一部が国際宇宙ステーション近傍にも到来。地上監視では観測できない、超高速なデブリの衝突事故が発生。

等があります。

これは全て宇宙空間での事故ですが、衛星の破片或いは衛星そのものが、何の計算も無いまま地上に落下してきたりすると、大惨事を起こす場合が考えられます。

宇宙開発・産業はこれから先進国の主要産業であり、衛星だけでなく、月探査なども盛んに行われている為、さらなる問題が生まれてくる事でしょう。

国際ルールの検討が急がれます。

在籍会員数	43名
義務出席者	40名
ゲスト	1名
ビジター	0名
本日出席数	34名
本日出席率	85.00%
前々回修正出席率	93.02%

次回（5月20日）の例会は、

「地区研修・協議会 報告」
です。

5月のお誕生日

28日 友田 信明 会員
29日 巫部 佑彦 会員

今月の主な予定

8日(水) 二水会
11日(土) DXセミナー
13日(月) 定例理事会
18日(土) 地区研修・協議会
27日(月) 次年度理事・委員長懇親会

幹事報告

北垣副幹事

・臨時理事会報告

- ① 台湾地震支援金に関する件—本日募金箱を回します。
- ② 新会員推薦の件—承認
- ③ アスマアさん支援に関する件—ガバナー補佐に相談の上、第2グループに支援の呼びかけを行いました。
当クラブの募金額は、504,000円となりました。ご協力ありがとうございました。

・来週からGWに入りますので、次回例会は、5/13です。

卓話の時間

「コクラ農チカラ～限界集落と私～」

藤堂 FARM グループ 代表 藤堂正嗣 氏



「農業消滅」、「集落消滅」が訪れる危機を肌で感じながら、小倉南区道原で、両親と農業をしています。私は学生卒業後、小学校と高校で教師をしていましたが、就農して14年目になりました。

「藤堂農園」は、ホウレンソウを中心に春菊等の葉物野菜（北九州市契約野菜）を21棟のハウス施設と露地圃場で約2.0ha、米は福岡県産米夢つくしを約1.5haの圃場で栽培しています。新たに、ふくおかエコ農産物認証を取得したアスパラガス栽培を始めました。最近は、ピーズを試験栽培中です。

小倉は、紫川流域の山間部の狭い面積に、肥沃な土壌と清らかな水に恵まれた農地があります。北九州市圏という大消費地、卸売市場や交通網等の流通経済が発達した好条件下で、野菜を軸に都市近郊農業を展開してきました。しかし、その小倉の農業と農村が危機的状況なのです。

始めに、道原は、「紫川」上流の中山間部、川の水源である「福智山」の麓に位置しています。北九州市最大の滝「菅生の滝」や近代化産業遺産「道原貯水池」の水が象徴するように、自然豊かな環境が残る地域です。

しかし、道原に隣接する頂吉に、1912年に福智貯水池、1939年に頂吉貯水池、1973年に鱒淵貯水池が建設され、頂吉のほとんどがダムの中に沈み込みました。人口流出と過疎化は加速的に進み、2008年道原小学校が閉校。現在、道原・頂吉の人口は約300人、65歳以上が約55%、10年後の試算では、人口約250人、65歳以上が約65%となり、限界集落であることが分かります。1787年から伝わる、県指定無形民俗文化財「道原楽」を継承することも困難です。

次に、小倉の農家戸数は、1965年4,443戸（専業858戸）から、2015年857戸（専業349戸）まで減少しています。生産調整や自由化等の国の農業政策や都市化の進展で、農家の過半が他産業に移動し、市の農業就業者は市全体の就労者の1%以下です。農業者の高齢化、兼業化、自給農家化、そして、離農が止まりません。農家数減少、経営規模縮小、耕作放棄地増大が進み続ければ、食料の安定供給はおろか、国土保全、水源の涵養、文化伝承など農業の多面的機能も全て失われます。

日本の食料自給率は38%と国は発表していますが、種や飼料、化学肥料を輸入に頼りきっていることを加味すると、本来の自給率は10%程度と提唱する研究者もいます。

現在、同じ地域で、65歳以下で農業に従事している人は私1人です。燃料や肥料、資材が異常高騰してコスト高の今も、農産品の売値は上がりません。しかし、私は最後の砦となって、限界集落で農業を続けていきます。目標は、市民と企業と行政が一体となって小倉の農業と農村を振興する仕組みを作り、次世代に渡すことです。

ニコニコ献金報告

累計 542,750円

梶原会員—藤堂様、本日は卓話を宜しくお願いします。楽しみにしております。

4/14の地区大会に参加された皆様、お疲れ様でした。樋上会員—藤堂さん、今日はお忙しいのに卓話を引き受けていただき感謝します。宜しくお願いします。

池浦会員—家庭集会、急に行けず申し訳ありませんでした！浅海会員—家庭集会リーダーの巫部さん、お世話になりました。

そして貴重な冷酒、本当にありがとうございました。巫部会員—アスマアさんへの応援金504,000円も有難うございました。今日、お礼のメールで、心臓手術が緊急だった義父母2名、エジプトの病院に入れたそうです。まだ父母と子供3人が残っているそうです。

網田会員—先日、ミクニスタジアムでギラヴァンツ北九州の入団式があり、無事に選手登録することができました。

友田会員—この度4月11日に息子の小学校入学式を無事に迎えることができました。学校給食も始まり、カレーをおかわりしたと嬉しそうに報告してくれました。これからが楽しみです。有難うございます。

野村会員—妻の母が金曜日に福岡に来てくれます。そのため妻の機嫌がとても良いのでニコニコします。

合計 17,000円

祝お誕生日祝い—江口勇二会員